

曜日時間 土曜13:15~14:45

受講料 21,000円

定員 45名

単位 2単位

概要 今年度は、万葉集巻一の続きと巻二相聞の巻頭歌から天武朝の歌の前半までを読み進めていきます。万葉集は、歌を配列していくことによって、「固有の歴史」を描こうとしています。「固有の歴史」とは、天智天皇・天武天皇両方の血脈を引く、草壁皇子・文武天皇・聖武天皇こそが正統な天皇であり、その統治によって国家は繁栄するというものです。巻一は、平城京遷都までの時代を描いています。巻二も、巻一とは少し異なるところもありますが、同様の「固有の歴史」を描こうとしています。

テキスト プリントを配付します

内容 5月12日~12月8日 (全10回)

- ① 5月12日 山辺の御井を見がてり神風の伊勢をとめども相見つるかも (1/81)
- ② 5月26日 秋さらば今も見るごと妻恋ひに鹿鳴かむ山ぞ高野原の上 (1/84)
- ③ 6月2日 君が行き日長くなりぬ山たづね迎へか行かむ待ちにか待たむ (2/85)
- ④ 6月30日 妹が家も継ぎて見ましを大和なる大島の嶺に家もあらましを (2/91)
- ⑤ 7月7日 み薦刈る信濃の真弓わが引かば貴人さびていなと言はむかも (2/96)
- ⑥ 10月13日 玉葛実ならぬ木にはちはやぶる神ぞ着くとふ成らぬ木ごとに (2/101)
- ⑦ 10月27日 わが里に大雪降り大原の古りにし里にふらまは後 (2/103)
- ⑧ 11月10日 わが背子を大和へ遣るとさ夜ふけて暁露にわが立ち濡れし (2/105)
- ⑨ 11月24日 いにしへに恋ふる鳥かも弓弦葉の御井の上より鳴き渡り行く (2/111)
- ⑩ 12月8日 秋の田の穂向の寄れる異寄りに君に寄りな言痛かりとも (2/114)

講師 福沢 健

獨協大学講師 専門/上代文学
國學院大学大学院文学研究科博士課程後期単位取得。学生時代から、上代文学、特に万葉集と古事記を中心に研究